

科目	英語 (English)		
担当教員	折附 良啓 教授		
対象学年等	応用化学科・2年・通年・必修・4単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B3(80%) D2(20%)		
授業の概要と方針	1年で学習した内容を確実にしたうえで、さらに4技能のバランスにも配慮しながら、2年次として必要な英語力を総合的に身につける。演習科目でもあるので、予習(テキストの下読みと語彙を辞書で確認)と復習(授業内容の確認)を必ず行い、また授業に積極的に参加し、発言することが期待されている。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B3】英語の発音記号が正しく読める。		英語の発音記号が正しく読み取れるかを、中間、定期試験および演習で評価する。
2	【B3】2年次レベルの語彙・表現を習得する。		2年次レベルの語彙・表現を習得できているかを、中間、定期試験および演習で評価する。
3	【B3】2年次レベルの文法項目を習得する。		2年次レベルの文法項目を習得しているかを、中間、定期試験および演習で評価する。
4	【B3】2年次レベルの英語長文を正しく解釈できる。		2年次レベルの英語長文を正しく解釈できるかを、中間、定期試験および演習で評価する。
5	【D2】英文を通して、外国の人々の文化、生活様式、物の見方が理解できる。		外国の諸事情について知識が豊かになったかを、中間、定期試験および演習で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70% レポート、演習30% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「EXCEED English Series II」：森住衛ほか13名著（三省堂）		
参考書	「総合英語Forest(フォレスト) 6th edition」：石黒昭博監修（桐原書店） 「ジーニアス英和辞典第4版」：小西友七・南出康世編集主幹（大修館書店） 「やさしい英語の発音」：原岡笙子著（語研） 「中学3年分の英語を3週間でマスターできる本」：長沢寿夫（明日香出版社） 「絵でわかる前置詞の使い方」：久保清子著（明日香出版社）		
関連科目	本科目は、1年次英語及び、3年次英語、英語演習に関連する。		
履修上の注意事項	電子辞書または英和辞典を持参すること。		

授業計画 1 (英語)

週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	Greetings from the Heart(1)	いくつかの言語の「こんにちは」を例にして、あいさつ言葉に込められた心を考える。SV/SVC/SVO/SVOO/SVOC
2	Greetings from the Heart(2)	第1週目と同じ。
3	Greetings from the Heart(3)	第1週目と同じ。
4	Greetings from the Heart(4)	第1週目と同じ。
5	New Rules for Themselves(1)	身体の不自由な人たちの野球チームの例を見ながら、スポーツとは何かを考える。SVC(V=be動詞), C=that節等)
6	New Rules for Themselves(2)	第5週目と同じ。
7	New Rules for Themselves(3)	第5週目と同じ。
8	中間試験	これまでの学習内容の理解を問う。
9	Messages from the Sea(1)	中間試験の解答と解説。海の生きものたちは、生きるためにどのような知恵を働かせているのか。現在分詞の分詞構文。
10	Messages from the Sea(2)	第9週目と同じ。
11	Messages from the Sea(3)	第9週目と同じ。
12	A Model of the Atomic Bomb Dome(1)	平和のために高校生として何ができるかを考える。SVC, SVOC(C=過去分詞) / 過去分詞の分詞構文
13	A Model of the Atomic Bomb Dome(2)	第12週目と同じ。
14	A Model of the Atomic Bomb Dome(3)	第12週目と同じ。
15	Kaneko Misuzu(1)	金子みすずの詩は、私たちが忘れていたものを思い起こさせてくれる。前置詞 + 関係代名詞/関係副詞/関係代名詞の非制限用法
16	Kaneko Misuzu(2)	前期定期試験の解答と解説。第15週目と同じ。
17	Kaneko Misuzu(3)	第15週目と同じ。
18	Wonders of Memory(1)	人間の記憶力と脳にある「海馬」という部分との関係を考える。現在完了進行形/過去完了進行形/未来進行形
19	Wonders of Memory(2)	第18週目と同じ。
20	Wonders of Memory(3)	第18週目と同じ。
21	Nowhere Man(1)	ジョン・レノンの青春時代について考える。仮定法過去/I wish ~ /as if ~
22	Nowhere Man(2)	第21週目と同じ。
23	中間試験	これまでの学習内容の理解を問う。
24	Nowhere Man(3)	中間試験の解答と解説。第21週目と同じ。
25	Aboriginal Art in Australia(1)	オーストラリア先住民の独特な「アボリジナルアート」について考える。仮定法過去完了/強調構文
26	Aboriginal Art in Australia(2)	第25週目と同じ。
27	Aboriginal Art in Australia(3)	第25週目と同じ。
28	Media Literacy(1)	テレビを例にして、メディアの内容がどのように操作されているかを考える。It ~ whether節/形式目的語
29	Media Literacy(2)	第28週目と同じ。
30	Media Literacy(3)	第28週目と同じ。
備考	前期, 後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	